

バスケット
男子

光星16強



近畿インターハイ

全国高校総体（インターハイ）「夢へ躍進 青春の夏 近畿総体2026」は29日、大阪府などで3競技が行われた。青森県勢はバスケットボール男子の八学光星が常磐（群馬）に88-65で勝利し、ベスト16入りを決めた。30日の3回戦で開志国際（新潟）と対戦する。女子の柴田は初戦の2回戦で千葉経大付に50-76で敗れた。

30日は大阪府などで自転車や陸上など5競技が行われる。記録は3位までと青森県関係分

千葉経大付
76
17172319
175171
50
柴田学園

八学光星
88
22152625
15211514
65
常磐

バスケットボール
（Asueアリーナ大阪ほか）
▽男子2回戦

主力温存、危なげなく

主力を温存しても盤石だった。バスケットボール男子の八学光星は控え選手が躍動し、初出場の常磐（群馬）を退けて16強入り。スタメン5人に次ぐ6人目のキープレーヤー、シックスマンの廣岡瑛太郎は「ハードなディフェンスから速い展開のバスケットができた。いい活躍ができてうれしい」と声を弾ませた。

この日は上位進出をにらみ、控え組の出場時間を増やすローテーション。前半から廣岡らがアグレッシブな守備で相手の自由を奪い、流れを引き寄せた。加藤優太郎、佐藤璃介、伊藤鴻

ハイライト

体を張ってゴール下を支え、大屋夢叶と角谷光輝が内外から着実に加点した。危なげなく勝利をつかんだが「リバウンドなどで甘い部分はあった（廣岡）と反省も。3回戦は世代別日本代表を複数人擁する開志国際（新潟）が相手だ。ミスの少ない試合運びが求められる中、廣岡は「守りの強度をもっと上げ、得意なバスケットを見せたい」と意欲を燃やした。

（千葉達也）



【バスケットボール男子2回戦・八学光星―常磐】第3クォーター、八学光星は廣岡瑛太郎（右）がシュートを決め、62-44とする

大阪府堺市の大浜だいしんアリーナ